



警視庁

街とともに。人とともに。

FOR MORE COMMUNICATION

PORTRAIT



警視庁採用センター
〒183-8555 東京都府中市朝日町 3-15-1
TEL 03-3581-4321 フリーダイヤル 0120-314-372
<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/>

警視庁



PORTRAIT of the FRONT LINE

警察官

**警察官にしかできない
数多くの仕事には、
人と社会に尽くすという
熱い意志が満ちている。
東京と東京都民の
安全を守る最前線で
彼らが語る、正義感、
緊張感、達成感。**

人口1200万人の巨大都市、東京。そこには多くの人々の暮らしがある。そして政治と経済の中核機能が集中している。東京は24時間、一瞬も停止することなく動き続ける街だ。だから東京では毎日のようにさまざまな出来事が起こっている。その中には人々の暮らしと首都機能をおびやかすものがある。放置すれば東京は不安と不信が渦巻く都市、危険と災厄が潜む都市になってしまう。

そこに立ち向かい、東京の安全と平和を守る仕事がある。それが、警視庁の警察官だ。緊張を強いられる業務、厳しい規律、求められる高い使命感。決して楽な仕事ではない。

彼らはなぜ警察官という職業を選んだのだろう。何を思いつつ日々仕事をしているのだろう。結論はこうだ。「警察官にしかできないこと、警察官だけが味わえるやりがいがあるから」。彼らの発言からそのことを感じてもらいたい。

住んでいるのは調布署の裏手にある寮。
だから通勤時間は限りなくゼロに近い。オ
ンとオフのメリハリをつけるために、休日は
外出することが多い。自転車が多摩川べ
りを走ったり、友人と新宿あたりに出かけ
、映画、ショッピングなどを楽しむ。



交番では警察官の
仕事の基本が学べる。

久しぶりに会った学生時代の友人に「ちょっと引き締まったんじゃないか?」と言われました。外見だけでなく、気持ちも結構引き締まったと、自分では思っています。そうなれたのは交番勤務のおかげです。交番には警視庁の業務のすべてがコンパクトに詰まっています。また地域の方々と日々接していると、交番に対する大きな期待を感じます。この二つが私を成長させてくれるのだと思います。

管轄する地域では事件は起こさせない。そんな気持ちがありますから、勤務中は緊張しています。しかし地域の方と接する際には、それを表面に出さずやさしく丁寧な対応を心掛けています。その積み重ねから生まれる親しみや信頼が、何か事件が起こった時に役に立つはず。だから交番の近くにお住まいの方とのあいさつは大切にしていますし、世間話もします。私が警察官を志望した理由は、事件を未然に防ぐ仕事をしたかったから。その点で交番の仕事はぴったりだと思っています。

1

地域警察

伊部 敬博

調布警察署 地域第三係 巡查長
2005年入庁



2

交通警察

戸ヶ崎 洋介

第四方面交通機動隊 第四中隊 巡査長
2003年入庁

違反者を発見し、サイレンを鳴らして白バイを加速させるとき、周りの人の目にはけっこう格好よく映っているんじゃないでしょうか。実際、制服を着用し、白バイを走らせていれば、一人前の交通機動隊員に見えると思います。けれども私は現在のレベルには、全く満足していません。まだ学ぶべきことは山のようにあります。ですから定められた訓練に加え、時間を見つけては自分を鍛えることにしています。まだまだ未熟な私ですが、白バイに乗っていると、自然と自分に自信が持てるのです。そして自信を持っている自分のことを、とても誇らしく思います。ただし、この自信には、自己満足という面もあることは自覚しているので、一刻も早く、豊富な経験と厳しい訓練に裏づけられた、本物の自信を持てるようになって、堂々と職務を遂行したいです。そうなったら、その姿をぜひ見せたい人がいます。それは将来生まれるであろう私の子供です。白バイに乗っている私を、ぜひ学校で友達に自慢してほしいのです。



睡眠を十分にとること、規則正しく栄養のある食事をすること、家庭ではこの二つに気をつけている。妻も警察官、しかも交通警察。ということで、仕事の理解に関しては申し分ないパートナーだ。休みの日は、妻とのドライブでストレスを発散させるか、体力をつけるためにランニングにはげむ。

3

刑事警察

原 大介

第一機動捜査隊 第7班 巡査長
2001年入庁

犯罪発生地の報が入るや、直ちに現場へ急行。被疑者の追跡逮捕、現場付近の聞き込み、目撃者の発見など、いわゆる初動捜査に当たるのが機動捜査隊の任務です。最新の捜査車両・資器材や無線を駆使し、状況に応じた的確で素早い動きが求められます。普段から車でパトロールをして、殺人、強盗、傷害等の重大犯罪が起きたときは、その状況を判断して迅速に出動し、事件の早期解決に努めています。先日、重傷傷害事件発生時の通報を受け、逃走する被疑者を割り出して追跡。犯罪の発生から数時間後には、高速道路のパーキングエリアで確保しました。捜査中は犯人への怒りで気持ちも昂りますが、「熱くなりすぎるな、冷静に追いつめろ」と言い聞かせ、全力で追跡に当たります。私がこの道を選んだのは「悪いやつは許さない!」の一心から。同じような強い信念をもった仲間と事件を追っている時の充実感、そして、事件を解決したときの達成感、何ものにも替えられません。



学生時代は800メートル走のランナーとして鳴らし、日本記録に迫るタイムを保持。現在もほぼ毎日10キロ走を欠かさない。テレビドラマのような俊足を活かした犯人逮捕の場面は少ないが、「緊急出動に備え、車の点検整備と一緒」。走ることも刑事の仕事も好きなのである。



いつか、子供に
自慢してほしい仕事。



悪いやつは許さない。

仕事を通じてカウンセリングに興味を持つようになった。だから心理学の勉強をしたいと考えている。半年前に結婚した機動隊員の夫は家事にも協力的だという。悩みは二人いっしょの休みが少ないこと。ともに休日を通す貴重な時間は、映画を見たり食事をして過ごしている。

悩んでいる少年たちを、
正しい方へ導いていきたい。

外からは窺い知れない心の中の悩みや傷、少年の場合それが犯罪につながるものがとても多いのです。ですから私は少年係の一員として、起きてしまった犯罪の処理に加え、街中を巡回して飲酒、喫煙などを行っている少年たちを補導したり、相談に乗ったり、地域の方々と協力して少年犯罪防止のキャンペーンを推進したりしています。

そんな時、よく親御さんから「あなたは子供がいないから、親や子供の気持ちを分けるはずがない」といわれます。とてもつらいことです。でも私はこれまで、多くの少年たちを見てきています。その経験を活かせば、親とは別の角度から対処することができると思っています。ある暴行傷害事件の被疑者の子が、何度も会って話をするうちに、少しずつ本当の気持ちを話してくれることがありました。結局その子は少年鑑別所に送致されたのですが、戻った時、「警察の人に話をしてよかった」といつてくれたそうです。今までで一番嬉しかった出来事です。

4

生活安全警察

菅原 麻有子

南千住警察署 少年係 巡查長
2002年入庁



5

組織犯罪対策

佐光 輝亮

組織犯罪対策第二課 第15 捜査係 巡査部長
1997年入庁

エステ店を狙った連続強盗事件の捜査本部にいます。被疑者は外国人グループ。日本にいる外国人の多くは、一生懸命働いているのに、こういう輩がいるから偏見が生まれる。そのことに対する強い怒りが仕事のやりがいにも通じています。それに外国人による犯罪を許しては、わが国の国際化も本当の意味で進みません。

大学のゼミ仲間にはみな、公務員をめざして勉強していました。私もその一人でしたが、警察にはそこでなければ経験できないことが数多くあると思い、この職業を選択しました。現在の仕事の魅力もそこにあります。

周囲には多くの優秀な先輩たちがいます。豊富な専門的知識、すばやい判断力、しかも各人が各人なりのスタイルを確立しています。私にとっては“生きた教科書”です。私の念願も自分のスタイルを作ることです。いつになるか分かりませんが、それが一人前の刑事になるということだと考えています。



本当はスポーツがやりたい、しかし時間がない。代わりに本を読む。小説が多い。書店にぶらりといって、文庫や新書のコーナーで気に入った本を手にとり、あらすじをざっと読んで決める。ありふれた物語の中にはほろっとする場面がある、そんな小説が好きである。

警察にしか
できない仕事、
それに魅かれた。



6

警備警察

長崎 孝太

警護課 総理大臣官邸警備隊 巡査部長
1999年入庁

東京・永田町の総理大臣官邸。外周を機動隊が警備に当たり、その内側には、私たち警備隊が総理をはじめ、閣僚や内外の要人の警備に当たっています。この警備隊は、日本の中枢を守る警視庁だからこそある役割であり、警視庁にしかない組織。隊員には、体力のみならず、周到な注意力や冷静沈着さ、行動力が必要とされ、その重要性和責任を誇りとして任務に就いています。最大の使命は、何事も起こさせないこと。万一、不測の突発事態が発生した際は、速やかに事態收拾に当たります。わが国の治安は、かつてほど安定しているとはいえ、残念ながら国際テロの発生さえ懸念される情勢にあります。そのため、日頃からNBCテロや爆発物テロに対応した各種訓練を行い、緊急時に備えています。警備隊に所属すると、あこがれのSPの仕事の間近で学ぶことができますが、今を全うしなければ、次には繋がりません。ハードな任務と訓練に耐える体力と精神力を身につけ、より“タフな警察官”になりたいと思っています。



大学は理学部化学科出身。学んだもののうち、一つのことじっくり取り組む姿勢を任務に活かしている。警察学校ではじめて剣道を知り、いまや三段。二人の子供の話をする笑顔には優しさをもった信頼できる強さがにじむ。

強い人に憧れた。
だから、よりタフな
警察官をめざす。



警察官の仕事

1 地域警察

まさに警察活動の最前線。都民の日常生活にとって、頼りになる存在が地域警察だ。その象徴が交番。地域住民にとっては、バトール、地理案内、遺失物・拾得物の届出など「警察の窓口」であり、事件や事故の発生時には、現場に急行し初動捜査を行う。交番では警察活動の基本を経験することができる。そのため警察学校卒業後は交番に配属され、ここで基礎に磨きをかけ実力を高めることになる。このほか地域警察では、自動車警ら隊、鉄道警察隊、航空隊などによって、都民の生活と安全を守る活動を遂行している。

2 交通警察

いまや車による移動を抜きにして、生活もビジネスも成り立たない。それゆえ、安全で快適な車社会の実現という課題の重要性は日々増大している。交通ルールの遵守と交通マナーの向上という観点から、その課題の実現をめざすのが交通警察。交通安全意識の普及、適時・適切な交通規制、交通事故・事件の捜査、大きな社会問題となっているスピード違反や飲酒運転などの危険運転に対する取締りなどが、交通警察の主な活動だ。また車の性能向上に合わせて、高度な技術と機動性を備えた交通機動隊も、その活動の重要な一角を担う存在だ。

3 刑事警察

都民の生活を脅かすさまざまな犯罪は、社会環境の変化に伴って、ますます巧妙、複雑、悪質なものとなっている。犯人を迅速に検挙することは、被害者の思いに応え、社会の安全・安心に寄与するばかりでなく、犯罪の抑止にも不可欠だ。この使命を担う刑事警察は、本部の刑事部各課と各警察署刑事課の緊密な連携のもと、日々発生する犯罪に立ち向かい、その撲滅を図っている。証拠を集めて犯人を見つけ出し、事件を解決していく「刑事」は、社会が求める「正義」を実現する先駆者として、やりがいのある仕事である。

4 生活安全警察

大都会東京にはさまざまな人々が、平穏で快適な環境を願いながら暮らしている。しかしそこには、隙あらばその願いを壊そうとする不心得者も潜んでいる。また、少年を非行に走らせる誘惑も多様である。生活安全警察は、都民の身近で発生する経済、環境、風俗、少年、ハイテク犯罪といった事犯に対する取締りや、安全で安心な街づくりのための各種対策などを任務とする。また、都民が抱える各種問題に対応すべく生活安全相談にも積極的に取り組む。分野は極めて広いが、「頼りになる警察」を日々アピールする重要な仕事ばかりである。

5 組織犯罪対策

暴力団や来日外国人犯罪組織などの犯罪組織は、巧妙かつ凶悪な手段で、都民の平穏な生活を脅かしている。薬物・銃器の密輸・密売や旅券・クレジットカードの偽造などの悪質な事犯も後を絶たない。警視庁では全国に先駆けて、罪種を問わず横断的、総合的に取締りを行う組織犯罪対策部を設置して、犯罪組織の実態解明を進め、特に資金源の封圧に重点を置いた取締りを強化して、犯罪組織の弱体化および壊滅を図っている。

6 警備警察

首都東京は、日本の政治経済の中核であり、国の重要な機関や外国公館が集中し、重責を担う要人たちが日夜業務を遂行している。一方、事件や事故が発生すれば、国家的な危機、大規模な災害につながるおそれがつねに潜在している。警備警察は、実働部隊の中核となる機動隊をはじめ、警衝・警護、爆発物処理、レスキューなど、専門技術を備えたスペシャリストたちのさまざまな活動によって、都民の安全と平穏な生活を守ることを任務としている。

7 公安警察

公安警察は、国家、社会の平穏を害し、国民の安全を脅かすテロ、ゲリラの未然防止、対日有害活動の摘発、右翼などによる抗議・街頭宣伝活動に伴う違法行為の取締りなどを任務としており、平素から、地域住民の理解と協力を得ながら、各種情報の収集および分析、違法行為に対する徹底した捜査、非公然アジトの摘発などを推進している。また、最近の国際テロの脅威は、欧州や中東から、わが国に地理的に近接している東南アジア地域にまで迫っており、首都東京がテロの標的となる可能性も否定できないことから、組織の総力を挙げて国際テロ諸対策を推進している。

8 総務・警務

1から7で紹介した各種の警察活動をバックアップするのが総務と警務。総務部門はITを活用した事務の効率化、予算の適正な執行など会計全般、第一線の警察活動のレベルアップを支援する装備資器材の開発などに加え、被害者支援の推進に努めるとともに警察活動を都民に正確に伝えるための広報活動を行っている。警務部門では、人事、給与、福利厚生に関する事務および各種教育訓練などを行い、警察官の職場環境の向上と、育成制度の充実を図っている。いずれも警察官がその職務に集中し、都民からの信頼に応えていく上で、なくてはならない重要な業務である。

EDUCATION of the POLICE ACADEMY

警察学校の教育・研修

都民から信頼される警察官・職員(事務・技術)となってもらうために、警視庁は成長をめざす意欲ある人材を、充実した環境・施設・制度によって徹底的に支援する。警察官・職員への一歩はここからはじまる。

警察官および職員(事務・技術)に対して、警視庁は手厚い教育・研修制度を用意している。それは都民から信頼される警察官・職員となるためには、自己能力の向上を図る努力が継続的に求められ、それだけ責任の重い業務を担うからである。警察官・職員として採用された人材は、まず警察学校で基礎を学ぶ。職務に必要な知識(法律学、職務倫理、一般教養など)と各種警察活動の実務知識、警察官はそれに加え、術科と呼ばれる柔剣道、逮捕術、けん銃操法などを習得する。また寮生活を通して教官や同僚との絆も深める。卒業して実務に就いた後も、各種研修が設定されており、実務と並行して専門的な知識や技能を向上させる機会が用意されている。こうした制度の存在が、警察活動の充実に大きく寄与しているのである。

厳しく、あたたかく、 強い警察官を 育てていきたい。



[カリキュラム] 赤字=警察官・職員(事務・技術)共通、黒字=警察官のみ	
一般教養	職務倫理、国語、一般教養、OA実習など
法 学	憲法、行政法、刑法、刑事訴訟法など
警察実務	交通警察、刑事警察、生活安全警察、警備警察、警務一般、その他実務知識
術 科	体育、柔道/剣道(女性は合気道も)から選択、逮捕術、救急法、けん銃操法など
そ の 他	警察署での実務修習、各種行事



警察学校教官

寺島 忍
初任教養部 警部補

警察官になるということは、都民の皆さんのために働くということです。ですから都民の安全を脅かす事態が発生したら、いつでも自分が盾になれる、そんな精神と、実際に盾としての役割を果たせる鍛えられた身体と技量を備えていなくてはなりません。私はそのような要件に合う「強い警察官」を育てるのが警察学校の使命であると考えています。かつて、私自身も新人警察官として警察学校で学びました。そこで教えていただいた教官の方々が、警視庁に入って初めて接する先輩警察官でもあるわけですから、その方々からはとても大きな影響を受けました。警察官とはどのような職業なのか、いかにあるべきなのか、そういったことを身体と心の両面に刻み込んでいただきました。私が教官という仕事を志望した理由もそこにあります。私がそうであったように、ここで学ぶ新人の皆さんにも、一人前の警察官になるための基本を、しっかりと習得してもらいたいです。警察学校では、「教場」と呼ばれるクラスを単位として、知識や技能を習得するためのカリキュラムが編成されています。教場にはそれぞれ担当の教官がつき、警察学校での生活のすべてを、時には厳しく、時にはあたたかく見守ります。若い力が都民の安全に貢献できることを心から願って、教壇に立っています。



食堂



図書室



屋内プール



グラウンド



教室



文化クラブ活動



体育クラブ活動



[1日のスケジュール]

6:00 起床

6:30 点呼

7:00 朝食

8:30 朝礼/ホームルーム

9:00 1時限目授業

10:35 2時限目授業

11:55 昼食・休憩

13:00 3時限目授業

14:35 4時限目授業

16:10 5時限目授業/クラブ活動など

17:15 日課時限終了

18:00 夕食

22:00 点呼

23:00 消灯

※クラブ活動は警察官のみ



1. 教練
2. けん銃操法
3. 剣道
4. 柔道
5. 逮捕術
6. OA実習
7. 合気道



PORTRAIT of the PRO FESSIONAL

職員(事務・技術)

**警察活動の第一線を
専門的なスキルで支える、
警視庁の職員(事務・技術)
たち。その活躍が都民の
目に直接触れることは
多くはないが、彼らの
誇りと使命感は、警察官の
それと変わらない。**

警察活動の第一線に立つ警察官が、その使命をまっとうし、また警察活動の各分野における組織が円滑に機能するためには、警察官と警察組織の両者をバックアップする業務が不可欠である。これを担うのが警視庁の職員(事務・技術)だ。警察官が本来の業務に集中し、また警察活動がスムーズに行われるためには、事務的な業務をすみやかに遂行する必要がある。さらに近年の警察活動の高度化、複雑化は、技術的な素養を有する人材が活動に参加することを強く求めている。

こうした現状に対応すべく、事務職員は警視庁本部や各警察署などでの事務全般を担い、技術職員はさまざまな分野における専門技術を磨いている。職員も警察官同様、都民からの信頼を得るために日々、変化しているのである。



最前線の人たちの
支えになりたかった。

9

警察署・警務

家山 美歩

西新井警察署 警務係 主事
2006年入庁

将来結婚した後もずっと仕事を続けたい。そんな思いが強く、もともと公務員を志望していました。警視庁を選んだのは、大学で開かれた警視庁の就職説明会に参加したとき、首都東京の治安を守る使命感に共感したから。警察官を志す選択肢もありましたが、性格的に表立った仕事よりも脇から支える役割が私には向いていると思っていました。

現在の担当のひとつは、来訪される方や電話対応などの受付業務。警察署には生活上の不安をはじめ、事件や事故の問題などさまざまな相談が寄せられます。その意図・目的をくみとってスムーズに適切な部署へ引き継いでいく、地域の方々や警察とを最初につなぐ大切な仕事です。もうひとつの担当は、署員の勤務状況のデータ管理や各種手続の手続など、勤務管理関係の事務。現場で頑張っている警察官が集中して仕事に打ち込めるようにするのが私の役割です。これからも仕事の幅を広げ、より大きな“支え”になればと願っています。



学生時代はバスケットボール部で活躍。入庁した現在も、学生時代の仲間とバスケを楽しむほか、休みの日にはプールに通うほど、スポーツが大好きだ。厳格ながらも、警察官一人ひとりの素顔は優しく「ありがとう」と言ってくれるのが嬉しいという。



その日、
ぼくはきっと
泣くだろう。

10

警察署・会計

島田 純一

目白警察署 会計厚生係 主事
2006年入庁

警察署というところは厳しいだけではなく、あたたかいところも結構あるのです。というか、厳しさやあたたかさのメリハリがはっきりあるといった方が正しいでしょう。そのどちらの面も私は大好きで、厳しさが求められる場面では思いきり緊張感を高め、あたたかな場面、たとえば先輩が指導してくれるような場面では、素直にのびのびと行動するようにしています。警察署の予算執行、署員の給与および福利厚生、遺失物の取扱いなど、幅広い会計の業務ですが、私はまだ駆け出しなので、どの業務でも入口のあたりでうろろしているといったところです。ただいつも笑顔で業務に当たることだけは心掛けています。今のところはぎこちない笑顔ですが、その笑顔がそのうち自然に出るようになると思っています。

将来異動で目白署を離れることになった時には、感極まって泣くくらい一生懸命やりたいと思っています。



頭がっつ中学の剣道部。友だちとコーチを積み込んだ人の勤務先が警視庁だった。こころよく引受けてくれたその人からは、大きな影響を受けた。「将来、こういう人と働けたらいいな」。当時ぼくはそんなことを、この仕事を選んだ原点にある。今も毎朝、署の退場で竹刀を手にするたびにそのことを思い起こす。

重い分だけ
手応えは大きい。



11

本部・用度

里見 綾子

用度課 物品管理係 主事
2006年入庁

用度課では、警視庁で使われる物品の購入をはじめ、ポスターやパンフレットの印刷、交通信号機設置の工事といった各種の契約手続を行っています。物品だけでも、事務用品や消耗品、机・椅子などのオフィス家具から、捜査資器材、ヘリコプターまで大小さまざまに及んでいます。警視庁の職員は約4万5千人。扱う物品の種類・量ともに膨大なものになりますが、各部署の要請にもとづき、警察活動に必要な備品類を調達して、東京の安全を側面からサポートしています。警視庁の活動力の一端を担っていると思うと、重い任務の分だけ手応えも大きいと感じています。

日々心掛けているのは、「初心忘るべからず」。ただ漫然と過ごしてしまうと、仕事がおざなりになり、自分がここにいる意味がわからなくなってしまうと思います。だから、「毎日を大切に」といつも自分に言い聞かせています。



学生時代はラクロスに熱中していた。ポジションはディフェンス。ゲームの流れを読んで前線のプレーヤーをサポートする役目は、誰かを支えているという点で、この仕事にも通じると思っている。違いは、当時の使命はチームの勝利、けれども今は警視庁全体のバックアップということ。最近では後輩の試合を応援する程度だが、仕事とプライベートともに充実している。

一人でも多く、
警視庁のファンを
増やしたい。



12

本部・広報

日高 真由美

広報課 広報センター 主事
2000年入庁

まさかこの仕事を担当するとは、思ってもみませんでした。この仕事というのは、見学にこられた方々に、警視庁の活動を紹介する「ふれあいひろは警視庁教室」での司会のことです。人前で話をするのが苦手なので、最初の日のことは、緊張して覚えていないほどです。今は慣れましたが、それでも教室に入る時は、心の中で気合を入れることにしています。

見学を終えた小学生が「大きくなったら警察官になるよ」なんていってくると、うれしい手応えを感じます。警察署とはまた異なる角度から、都民の皆さんとの接点となっているこの仕事が私は大好きです。

警視庁は男性の多い組織ですが、女性が活躍する場合は、意外なほどたくさんあります。思いがけない成長のチャンスと出合うこともあります。先輩たちが築いた仕事のフィールドを、少しでも広げることができればいいなと願いながら、シンボルマスコットのビーボくんといっしょに仕事に取り組んでいます。



就職活動中に落とし物をしてしまった。あわてて警察署にかけたが、そのときの窓口の職員の高対が、とてもソフトで明るくて印象に残った。それが警視庁に入るきっかけだった。いま抱いている、自分の仕事を通じて警視庁への理解を深めたいという思いもまた、その経験が原点となっている。

職員(事務・技術)の仕事

※全ての職種につき毎年採用試験(選考)が行われるとは限りません。

9	事務(警察署・警務) 警務とは民間企業でいう総務部門と人事部門を合わせた役割を持つ部署である。申請や相談で来署した人々への応接や犯罪の被害に遭った人への支援、犯罪統計資料の作成、署員の勤務管理や健康管理などの多岐にわたる業務を行い、警察署の活動全般を根拠から支えている。	事務	19	交通技術 安全で円滑な交通を実現するため、道路・交通工学、都市工学に関する科学的知見と技術を活かす。交通規制、交通管制および交通安全に関する計画、設計、審査、監視、指導などの業務を担当する。交通過密都市東京においては、都民の生活に直結する重要な業務である。	技術
10	事務(警察署・会計) 警察署において、予算の執行、施設の管理、制服・装備資器材・事務用品などの管理、車庫証明や道路使用許可などの手数料の徴収、遺失物の取扱い、署員に対する給与支給・福利厚生業務を行う。会計の仕事は幅広く、迅速で正確な事務処理能力と、柔軟できめ細やかな仕事ぶりが求められる。	事務	20	法医 事件現場に残された血液・体液・毛髪・骨などの生体組織由来の資材を、生化学、分子生物学レベルで検査・鑑定し、事件との関連と犯人との結びつきを明らかにする。最近脚光を浴びているDNA鑑定も法医が担当する。つねに冷静で科学的・客観的な判断力が求められる職種である。	技術
11	事務(本部・用度) ハトカー・白バイをはじめ全庁で使用するガソリンや機・書庫・各種事務用品のほか、さまざまな物品の購入と管理、捜査活動に必要な資器材の購入や交通信号機設置工事などに際しての契約手続と履行確認検査を行う。幅広い警察活動を的確に支援するため、与えられた役割を確実に果たすことが必要とされる。	事務	21	化学 麻薬・覚せい剤などの薬物をはじめ、火薬類・金属・油・プラスチックなどを最先端の機器を駆使して分析、検査および鑑定を行うとともに、化学災害事故などの原因を究明する。化学・薬学・生化学・理工学などの専門的知識を活かす職種であり、組織犯罪から環境関連事故までの広い範囲を対象とする。	技術
12	事務(本部・広報) 警視庁の活動を広く社会に向けて発信するほか、都民の声を受けとめる窓口業務、各種メディアの取材対応も行う。他にも広報紙やホームページの企画・制作、警視庁広報センターにおける見学者への対応、総合相談センターの運営、音楽隊の活動の企画・実施など、業務の範囲は極めて広い。	事務	22	物理 出火事件および機械事故などの原因究明、脅迫電話などの音声鑑定、パソコンのデータ解析・復元、防犯ビデオの画像解析、銃器鑑定、交通事故解析などを、電気・機械それぞれの専門分野の職員が担当している。ハイテクを応用した犯罪の増加に対して、それをしのぐ鑑識技術を開発する職種である。	技術
13	通訳 外国人が関連する事件において、現場の警察官と一体となり、取調などに際しての意思疎通を担う。110番や交番に外国人が訪れた場合の電話通訳や、捜査関連資料の翻訳も業務に含まれる。国際化の進展とともに、その必要性が大きく高まっている職種である。	事務	23	文書鑑定 理工学・文学などの専門的知識により、偽造文書(筆跡・印影・印刷・通貨など)の鑑定を行う。精巧さを増す偽造文書に対応するため、鑑定技術の更なる向上が求められている。また心理学・生理学などの専門的知識により、ポリグラフ検査などの心理鑑定を行い犯罪捜査に寄与している。	技術
14	土木 警察活動のために必要とされる施設(警察署・交番など)の新築改築および整備に際し、測量・土木・道路などに関する専門的知識と技術を活かし、土地の測量、道路構造などに関する計画、調査、積算、施工、指導、審査などの業務を担当する。	技術	24	特殊写真 事件現場や証拠品の撮影、モニター・ジュ写真の作成、赤外線・紫外線写真の撮影、コンピュータの画像処理から物や人物の大きさを算出する写真計測などを行う。画像処理技術やデジタル技術などの最先端分野への目配りをつねに怠らないことが重要となる。	技術
15	建築 警察署・交番などの各種警察施設の建築に際し、調査、設計、工事監理などを担当する。警視庁の施設は、訪れる人にとって利用しやすい設計であることや、耐震性・耐火性が重要な条件となる。またけん銃射撃場など独特の建築技術が求められる施設もあり、専門技術が活用されている。	技術	25	航空機械技術 警視庁航空隊が保有する14機のヘリコプターの点検整備と離発着時の誘導、そして飛行中におけるレスキュー活動や機体の不具合などへの対応を遂行する飛行機士などの業務を担当し、上空のハトロー。災害時の救助活動、交通情報の収集など、万全な安全運行整備に努めるのが使命である。	技術
16	機械 警視庁の諸施設における空調設備・給排水設備・エレベーター・防災保安設備の計画立案、設計、積算、施工監理、保守管理、修繕などを手掛ける。けん銃の確実な訓練の妨げにならないような射撃場の空調設備や、24時間事件・事故に対応できる庁舎の設備設計など、警察施設ならではの案件も数多い。	技術	26	体育指導 警察官にとって健全な身体は最大の財産である。厳しい職務を全うして都民からの信頼に応えるためには、職務遂行の基盤となる体力の維持・向上を欠かすことはできない。そのために科学的なトレーニングプログラムの実施を計画し指導に当たることがこの職種の責務である。	技術
17	電気 エレクトロニクスは現代の警察活動にとって不可欠の技術である。有線・無線通信、交通管制、情報処理などの各種システムの構築と運用、警察施設の電気設備設計、コンピュータ関連の開発・運用など、エレクトロニクスに関する技術が活躍するフィールドは広範囲であり、かつ重要な意義を有している。	技術	27	自動車運転免許試験官 自動車運転免許試験官は、東京都公安委員会が府中および畿州の運転免許試験場で実施する自動車運転免許の技能試験を担当し、高度な運転技能と、自動車工学や交通法規に関する深い知識を活用して、安全で快適な車社会実現の一翼を担っている。	技術
18	心理 心理学に基づく科学的な技法を駆使して、警察官をはじめとする職員採用時の適性判定や、メンタルヘルスという観点から職員心理の理解やカウンセリングを行う。また少年に関する相談への対応と鑑別、犯罪被害者の支援、ドライバーの安全運転教育など幅広い分野で活躍している。	技術	28	保健師 警察官をはじめとする全職員がつねに健康で仕事に専念できるように、医師らとともに健康づくり全般を担当しているのが保健師である。保健や医療・看護に関する専門的知識や技術で、生活習慣病の予防や快適な職場づくりを支援し、全職員の健康増進につとめている。	技術

給与・昇任制度

給与

警察官

(平成20年1月1日現在の初任給)

I類採用者	240,100円
II類採用者	220,500円
III類採用者	202,400円

職員(事務)

(平成20年1月1日現在の初任給)

I類採用者	207,400円
III類採用者	163,300円

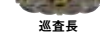
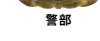
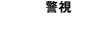
●上記の初任給は、給料月額に地域手当を加えたものです(100円未満切り捨て)。●このほかに期末・勤動手当(年間4.5か月分)、扶養手当、住居手当等が支給されます。●採用前に給与改定があった場合は、その定めるところによります。

昇任制度

警視庁では、**努力と実力で昇任への道**が切り開けます。昇任は、**厳正・公平な競争試験によって決定されるほか、実務能力に優れた人が昇任できる制度もあり、いずれの場合も、努力が必ず認められる仕組みとなっています。**

警察官

階級等 受験資格(抜粋)



本部の「部長」「方面本部長」等、大規模警察署の「署長」等として、担当部門の管理・運営に当たります。

本部では「課長」「理事官」等として、警察署では「署長」「副署長」及び「課長」等として、所属規模の組織・業務を掌して部下を指揮監督します。

警察署では「課長代理」等として、業務管理の要となり、部下の指揮監督に当たります。

警察組織の中間幹部であり、警察署では「係長」として係をまとめ、現場責任者として活動し、部下の指導監督の中心となります。

警察組織の中で第一次的な幹部として率先活動します。警察署では「主任」として、係の担当業務に従事します。

勤務をともにする巡査の実務指導に当たります。

警察学校入校と同時に巡査に、卒業後は、各警察署で勤務します。

職員(事務)

職名等 選考資格(抜粋)



本部の「課長」「理事官」等として、所属規模の組織・業務を掌して部下を指揮監督します。

本部では「管理官」等、警察署では「課長」として、業務を掌し、部下の指揮監督に当たります。

警察署では「課長代理」等として、業務管理の要となり、部下の指揮監督に当たります。

警察組織の中間幹部であり、警察署では「係長」として係をまとめ、係の業務や部下の指導監督の中心となります。

警察組織の中で第一次的な幹部として率先活動します。警察署では「主任」として、係の担当業務に従事します。

1級職主事として培った知識または経験を必要とする業務に従事します。

警察学校入校と同時に1級職主事に。卒業後は、各警察署で勤務します。

福利厚生

行き届いた設備・制度が
4万5千人をトータルにサポート。
豊かなプライベートライフが、
毎日の仕事をさらに充実したものにしています。

保健・医療環境

充実した医療環境による
健康管理



健康管理本部では、健康診断や各種検診等で病気の早期発見と適切な保健指導を行うほか、メンタルヘルス対策を充実させるなど、職員の心身の健康づくりを支援しています。さらに職域病院として最新医療設備の整った東京警察病院(中野)と西東京警察病院(西国分寺)を持ち、職員や家族の健康を守っています。また、警視庁本部と警察学校内にある診療所で、職員や学生の診療を行っています。

レジャー・スポーツ・カルチャー

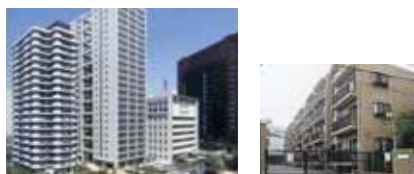
気軽にレジャー・スポーツ・
ショッピングを



テニスコート、遊園地、ボウリング場、プール、スキー場、ゴルフ場等、各種の契約施設が、家族とともに割引料金で利用できます。法人会員権を保有しているゴルフ場とリゾート施設は会員料金で利用可能。また、有名デパートや専門店とも契約しており、ショッピングも気軽に楽しめるほか、レジャー・スポーツ・カルチャー・ライフサポートなど、生活全般を網羅した多彩なメニューを会員料金で利用できます。

单身寮・家族住宅／住宅融資

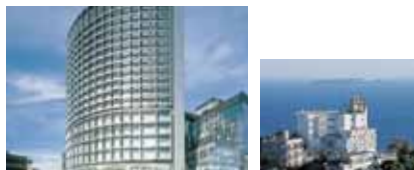
利用しやすい
单身寮・家族住宅



各警察署及び本部には、それぞれ单身寮があります。また、家族住宅には、新婚用から4人以上の家族用まで職員のニーズに対応できる住宅があり、家族数の増加に伴って広い住宅へ転居することも可能です。住宅購入の際には、警察共済組合や警視庁職員信用組合の有利な住宅融資を利用することができます。

宿泊・保養施設

安く、気軽に利用できる
宿泊・保養施設



警察共済組合直営の「グランドアーク半蔵門」では、宿泊や結婚式、各種パーティーが組合員料金となります。しかも施設とサービスは一流ホテルと変わりません。また、直営の保養施設が熱海・奥多摩・軽井沢の3か所にあるほか、契約宿泊施設が全国にあり、家族みんなで、安く気軽に宿泊することができます。

レクリエーション・クラブ活動

楽しみながら自分を磨く
多彩なレクリエーション・クラブ活動



警視庁では、テニス、ダンス、スキー、少林寺拳法、ボウリング、バドミントン等のスポーツクラブと、書道、茶道、茶室、写真等の文化クラブがそれぞれ盛んに活動しています。また、テニス、スキー等の各種教室も随時開催されています。中には、社会人リーグで活躍中のクラブもあり、自分自身を磨き、仲間との交流を深める絶好の場となっています。

研修制度

第一線で勤務する警察職員が、知識や技能を
さらに習得できるよう、様々な研修が行われています。

実務研修・実務講習

警察実務や専門的知識・技能を
修習する研修・講習です。

- 捜査実務研修 ○鑑識実務講習 ○少年事件捜査実務研修
- ハイテク犯罪捜査実務研修 ○国際捜査官養成プログラム
- 通訳実務研修 ○カウンセラー実務研修 ○手話実務講習 等

術科研修・講習

警察職務に必要とされる、
各種術科技能向上のための研修・講習です。

- 柔道 ○剣道 ○合気道 ○逮捕術 ○けん銃操法
- 水上安全法 ○救急法 ○自動車安全運転 等

幹部養成研修

幹部に昇任する予定の職員が、その階級に必要な
知識・技能と、幹部として必要な心構えや
管理能力を学ぶ研修です。

委託教養

部外の教養訓練施設、他官庁、
民間企業等に派遣されて、特定の分野に関する
専門的な知識・技能を習得するものです。

- IT研修 ○財務研修 ○外国語委託研修 ○企業研修 等

海外研修

外国の警察組織・活動内容を学ぶための研修や、
語学能力を向上させるための研修があります。

- 長期海外研修(アメリカ合衆国、韓国等)



警視庁の体制

体制データ集

平成20年1月1日現在

警視庁職員

警察官 **42984**人

職員 **2841**人



警察署

101署



交番

831か所



駐在所

253か所



パトカー

1401台



白バイ

951台




ヘリコプター

14機



水上警備艇

25隻




警察犬

57頭



馬

15頭



警視庁の組織図

